

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2000-90937 (P2000-90937A)

【公開日】平成 12 年 3 月 31 日 (2000.3.31)

【出願番号】特願 平 10-259898

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 4/66

H 0 1 M 4/02

H 0 1 M 10/40

【F I】

H 0 1 M 4/66 A

H 0 1 M 4/02 D

H 0 1 M 10/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 7 日 (2005.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

(表 1) より本発明の電池 A、B、C の重量当たりのエネルギー密度を比較例の電池 D、E と比較すると本発明の効果は明らかである。銅箔に 0.020 wt % 以上の鉄を含む銅箔を負極集電体として用いた電池 A、B、C は銅箔の厚みを $12\ \mu\text{m}$ 以下にした場合でも実使用に耐える機械的強度を有するので銅箔の厚みを薄くすることが可能であり電池の重量当たりのエネルギー密度を向上させることができる。一方、比較例 3 に用いた銅箔は圧延に耐えうる機械的強度を有しないために実用には耐えがたい。